

酵母合同シンポジウム企画 第2回産業酵母検定 正解と解説

第1問

正解：1

解説：清酒酵母の主要なエステラーゼ遺伝子を破壊すると酢酸イソアミル含量が増加することから、エステラーゼは酢酸イソアミルの分解に作用していると考えられる。

第2問

正解：3

解説：Woronin はイタリアの菌学者ではなく、ロシアの菌学者である。

第3問

正解：3

解説：ブドウ果汁を加熱滅菌することではなく、亜硫酸の添加によって殺菌/静菌するが、野生酵母の寄与する余地は残されていると考えられる。

第4問

正解：3

解説：*Leuconostoc mesenteroides* はグルコースのポリマーであるデキストランを細胞外多糖類として合成することが知られている。

第5問

正解：4

解説：耐熱性リパーゼを生産することを見つけたのはデンマーク人ではなく、日本人である。

第6問

正解：2

解説：これらの特徴を最も代表できる指標であり、産業上活用し易い簡便な手法である事が勘案され、37°Cでの増殖の有無が評価しています。これは、上面ビール酵母とは違って、下面ビール酵母が35°C以上では生育しないことを利用しています。また、一般に、1遺伝子支配のような変わりやすい形質での評価は適しません。事実、凝集性のない（失った）下面ビール酵母が存在します。

第7問

正解：3

解説：「子嚢菌系」は間違いで、正しくは「担子菌系」。